

北海道胆振東部地震における
厚真川流域の土砂災害に関する分野横断型調査研究

厚 真 川 土 砂 流 出 研 究 会

北海道胆振東部地震における 厚真川流域の土砂災害に関する分野横断型調査研究

泉 典洋
Norihiko IZUMI

北海道大学大学院工学研究院 教授

要 旨

2018年9月、北海道胆振東部地震によって厚真川流域では大規模な山地崩壊が発生し、多大な被害が生じた。これに伴い、流域内の山地斜面や農地、支流域河道内には大量の土砂が堆積しており、今後、融雪出水や夏期出水の際にこれらの土砂が厚真川流域の各支川から厚真川本川に流れ込み、中・長期的に河川地形、河口域、さらには海域まで輸送され、拡散すると予想される。大量の土砂流出は、農地への被害や河川地形の変化は勿論、水環境、水産漁業資源にも影響を与える可能性がある。そのため、早急な被害状況の把握および崩壊地からの降雨流出、土砂流出の実態調査を行い、今後想定される影響および河川整備等の検討に向けた基礎資料を取得することが必要と考えられる。そこで、2019年に、研究機関（大学、行政研究所）や行政機関（国、道、町）機関等の関連機関が結集して厚真川土砂流出研究会（座長：泉典洋、北海道大学大学院工学研究院）を設立した。本研究は、この研究会の枠組みを活用して研究機関同士でデータや情報を共有することによって、厚真川流域における土砂流出現象の解明を目的としている。特に地震後の降雨・土砂流出の変化の実態を把握した上で土砂流出を予測すること、また、土砂流出による下流域への影響を把握することを当面の目標とし、本年度は、複数の支流域を対象とした現地調査を継続するとともに厚真川流域からの土砂流出のモデル化を実施し、また、厚真川本川の河床変動をモデル化し流出土砂が下流域へ与える影響を検討した。本報告書では、実施した研究成果を著者別に1～5章として報告する。

各章の執筆担当者

第1章

久加 朋子：北海道大学大学院工学研究院 特任准教授
清水 康行：北海道大学大学院工学研究院 教授
田鍋 颯一：北海道大学工学部地域防災学研究室 学生
今日 出人：北海道大学大学院工学研究院 特任教授
岡安 努：北海道大学工学部地域防災学研究室 学生
橋場 雅弘：株式会社 福田水文センター
土田 宏一：株式会社 福田水文センター
西山 典志：株式会社 福田水文センター
山口 里実：土木研究所寒地土木研究所 主任研究員

第2章

宮崎功太郎：北海道大学工学部河川流域工学研究室 学生
星野 剛：北海道大学大学院工学研究院 博士研究員
山田 朋人：北海道大学大学院工学研究院 准教授
泉 典洋：北海道大学大学院工学研究院 教授
土田 宏一：株式会社 福田水文センター

第3章

Chen Yuechao：室蘭工業大学 博士後期課程
中津川 誠：室蘭工業大学 教授
大橋 弘紀：応用地質株式会社

第4章

谷口 陽子：苫小牧工業高等専門学校 創造工学科 助教
八田 茂実：苫小牧工業高専専門学校 創造工学科 教授
山家 悠翔：苫小牧工業高専専門学校 創造工学科 学生

第5章

古市 剛久：森林研究・整備機構森林総合研究所 森林防災研究領域 特別研究員
水垣 滋：土木研究所寒地土木研究所 主任研究員
小山内信智：政策研究大学院大学 教授